

Business
Report

へんしん

第46期 第2四半期

[平成28年4月1日～平成28年9月30日]



粉粒体袋詰め専用
超強力吸引作業車
(SQ-13SVFC)



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役社長
堀 維男



代表取締役専務
山本 琴一

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
 -
- 2～3 財務ハイライト
 -
- 4 財務諸表
 -
- 5～6 事業概要
 -
- 7～8 製品トピックス
 -
- 9 トピックス
 -
- 10 会社情報

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第46期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORTへんしも」をお届けいたします。

中期経営計画・第46期全社活動方針

当期は、中期経営計画（3ヶ年）「成長」の初年度であり、重点実施事項としまして

1. 顧客信頼度強化：顧客信頼度強化こそが、
当社の更なる成長の根幹を形成する。
2. 人材の成長：人材の成長こそが、
企業価値の向上・顧客満足につながる。
3. 新市場開拓：今後の更なる成長の為に、
新たな市場開拓が不可欠である。

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

営業の概況等

当第2四半期における我が国経済は、円高による輸出の低迷や、夏場の天候不順による個人消費下押し圧力があつた一方で、政府の経済対策もあり、生産活動全般では持ち直しの兆しがみられ、雇用・所得情勢も堅調に推移する等、総じていえば横ばい圏内で推移しました。

当第2四半期は、地域による若干の差は見られたものの、総じて需要は安定し、加えて短納期対応車の販売も順調に進展し、引き続き活発な生産活動を維持いたしました。

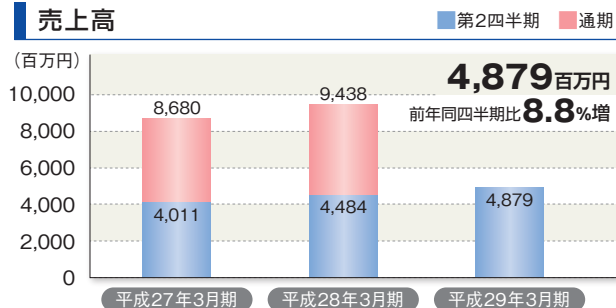
受注残高につきましても、海外案件は減少したものの、官公庁・高速道路会社の入札案件やレンタル会社等からの大

口案件もあり、前年同四半期を更新し、引き続き高水準で推移しております。

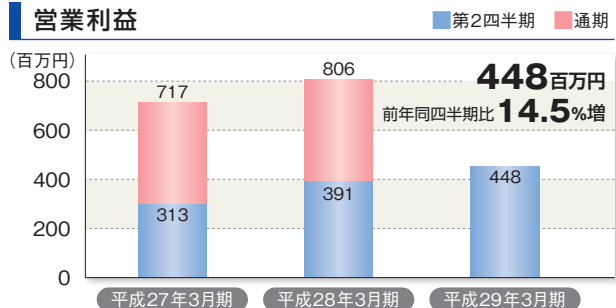
業績(数値)につきましては、前年同四半期に比べ受注高は428百万円増の5,253百万円(前年同四半期比8.9%増)、売上高は394百万円増の4,879百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。損益につきましては、営業利益は56百万円増の448百万円(前年同四半期比14.5%増)、経常利益は57百万円増の459百万円(前年同四半期比14.2%増)、四半期純利益は55百万円増の314百万円(前年同四半期比21.5%増)を計上することとなりました。

平成29年3月期第2四半期の業績ハイライト

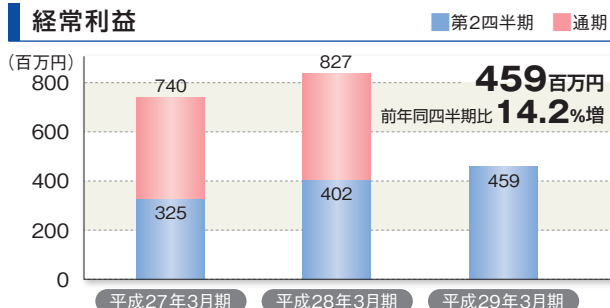
売上高



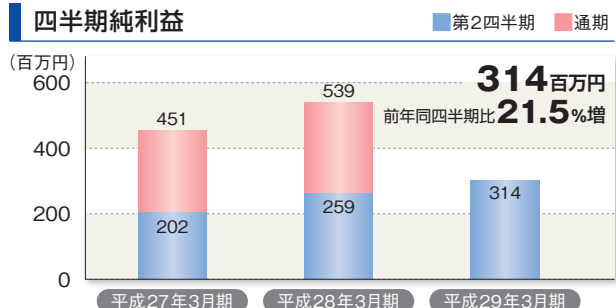
営業利益



経常利益

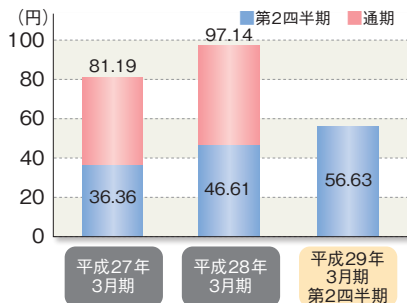


四半期純利益

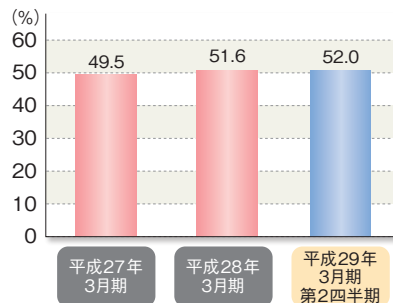


財務分析指標の推移

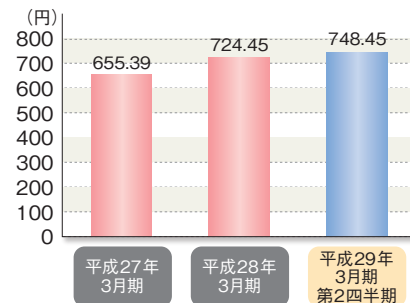
1株当たり純利益



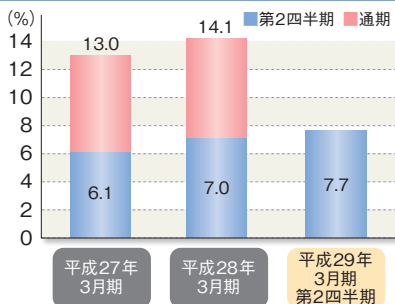
自己資本比率



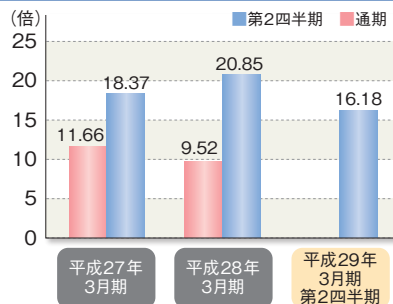
1株当たり純資産



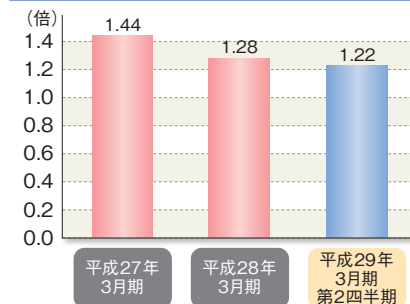
ROE (自己資本利益率)



PER (株価収益率)



PBR (株価純資産倍率)



通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期予想	9,500百万円	809百万円	830百万円	540百万円	97円14銭

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期末 (平成28年9月30日)	前 期 末 (平成28年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	5,811,845	5,605,368
固定資産	2,196,046	2,199,381
有形固定資産	1,942,759	1,939,070
無形固定資産	65,437	71,696
投資その他の資産	187,849	188,614
資産合計	8,007,892	7,804,749
(負債の部)		
流動負債	3,658,931	3,601,163
固定負債	188,461	176,508
負債合計	3,847,392	3,777,672
(純資産の部)		
株主資本	4,159,456	4,028,091
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	3,491,563	3,360,199
自己株式	△ 1,828	△ 1,828
評価・換算差額等	1,043	△ 1,014
純資産合計	4,160,499	4,027,077
負債純資産合計	8,007,892	7,804,749

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,879,404	4,484,499
売上原価	3,638,092	3,349,205
売上総利益	1,241,312	1,135,294
販売費及び一般管理費	793,127	743,715
営業利益	448,184	391,578
営業外収益	11,679	11,444
営業外費用	23	348
経常利益	459,840	402,674
特別利益	18	—
特別損失	86	87
税引前四半期純利益	459,772	402,587
法人税等	144,967	143,468
四半期純利益	314,804	259,119

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	484,393	△ 363,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 142,516	236,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 179,517	△ 140,472
現金及び現金同等物の減少額	162,359	△ 267,133
現金及び現金同等物の期首残高	917,300	983,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,079,659	715,979

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **3,187**百万円

国内では大きなシェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

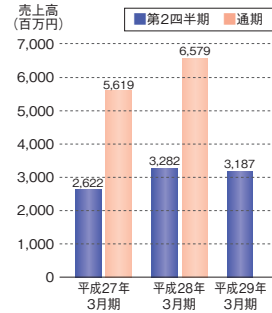
- 廃棄物の収集運搬
- 高揚程の汚泥回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SU-16BWJP)



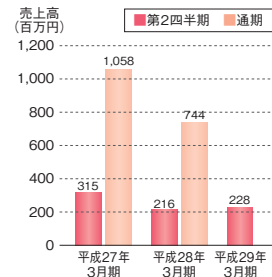
強力吸引作業車 (SM-04BVP)



新製品等 / その他

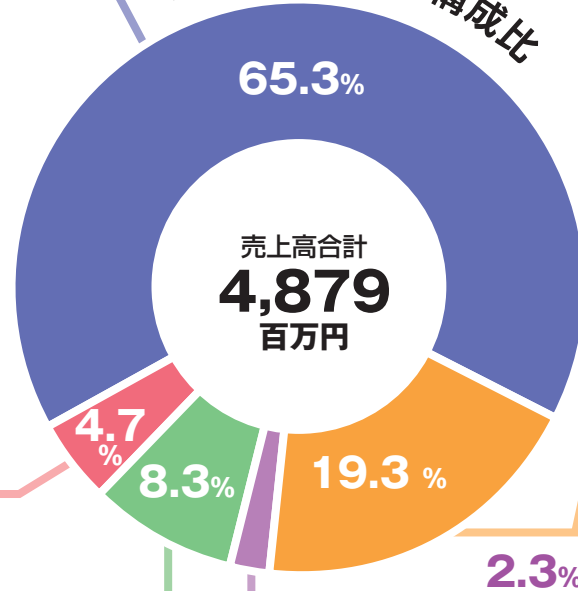
売上高 **228**百万円

新製品やその他の区分に属さない製品及び修理が含まれています。



洗浄吸引型路面清掃車 (RT-07BJ)

製品別売上高 構成比



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **942**百万円

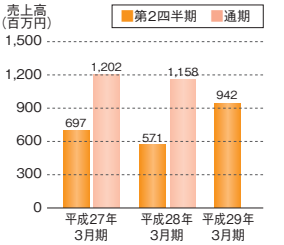
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04S2320A)



粉粒体吸引・圧送車

売上高 **113**百万円

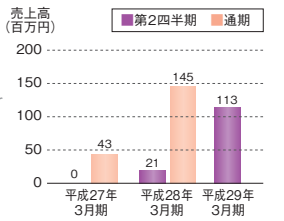
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高揚程搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント等粉体原料の回収・高所圧送



粉粒体吸引圧送車 (NS-13BVT)



部品販売

売上高 **407**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



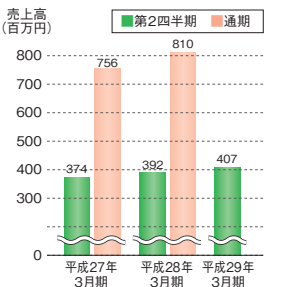
パワースライドノズル (回転式ノズル)



中間ジョイント (ホース接続ジョイント)



アタッチメント (吸引アタッチメント)



粉粒体袋詰め専用 超強力吸引作業車 (SQ-13SVFC)



粉粒体を大型のサイクロン式回収機で集めて袋詰めし、回収しきれなかった微細粉をフィルターを備えた回収タンクに回収し、袋詰めするという2段階構えの専用車です。

これにより粉粒体を周囲に飛散させることなく、ほぼ100%の回収を実現し、機能・環境の両面に優れた性能を誇っています。クレーンを搭載しているため、荷役作業にも対応できます。

洗浄吸引型 路面清掃車 (RT-07BJ)



車両後方の洗浄吸引アタッチメントから高圧水を噴射し同時に洗浄汚水を吸引する路面清掃車です。

作業時は油圧機構にて安定低速走行を行います。

運転席に設置したモニターで作業中の様子を確認出来る為、一人でも安全かつ効率的な作業が可能です。

4基の円盤状洗浄吸引アタッチメントにはカバーを取り付け、周囲への汚水の飛散を無くしました。

低騒音型 強力吸引作業車 (LS-05BGP)



低騒音タイプの強力吸引作業車 (LS型) です。作業回転数を可能な限り低くし、分離させた3次・4次キャッチャーを遮音壁代わりとしてポンプの左右に設置しました。標準タイプの強力吸引作業車 (SM型) に比べ、騒音値を6～8dB低減した製品です。

累計10,000台 出荷達成 (平成28年4月)



弊社 代表取締役社長 佃 維男より

日頃より弊社製品をご愛顧頂いております、ユーザーの皆様方に心からお礼を申し上げます。

大量生産ではない1台1台手作りの製品で達成した10,000台という数字に、感謝と共に気が引き締まる思いです。これからもユーザーの皆様方のご要望を実現するために、この10,000台を通過点として、技術の練磨と研究開発に努めてまいります。今後ともよろしくお願ひ致します。

短納期対応製品

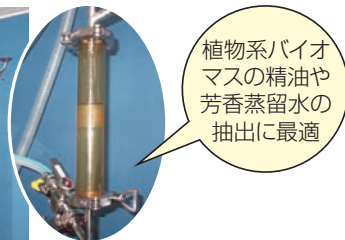


4トン強力吸引作業車、大型強力吸引作業車、高圧洗浄車
各種取り揃えております。

※お客様ご指定色で塗装いたします。

※台数には限りがございます。

減圧蒸留型抽出装置ラボスケール機 完成



植物系バイオ
マスの精油や
芳香蒸留水の
抽出に最適

電子レンジ方式で様々なバイオマス(果物の果皮等)から有用成分を抽出する、減圧蒸留型抽出装置のラボスケール機が完成しました。コンパクトで研究開発用途に適しています。

注) ラボスケール機…研究室サイズのデモ機



会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日
 資本金 313,700,000円
 従業員数 202名
 事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等
 環境整備機器の製造販売

役員

代表取締役社長 佃 維男
 代表取締役専務 山本 琴一
 取締役 柳井 仁司
 社外取締役 西岡 啓二郎
 社外取締役 清金 慎治
 常勤監査役 中村 修身
 社外監査役 平井 雄一
 社外監査役 筒井 康賢

事業所

本社 〒781-5101 高知市布師町3981-7
 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211

明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11
 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167

技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20
 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032

東日本支社
 東東京支店/ 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1
 西東京支店 アンノレイエ・オオタ6F
 TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333

東北・北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F
 TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995

札幌営業所 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F
 TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860

名古屋支店 〒462-0013 名古屋市中北区東味碗1-702
 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525

西日本支社
 大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43
 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350

中四国支店 〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F
 TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F
 TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

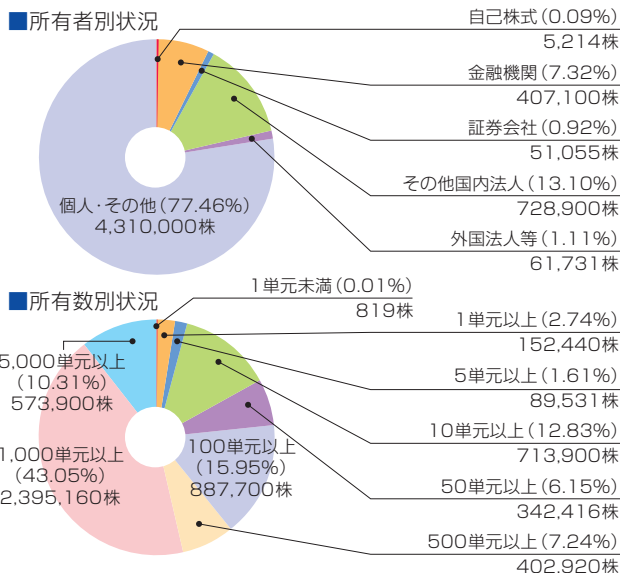
会社が発行する株式の総数 17,576,000株
 発行済株式の総数 5,558,786株
 （自己株式5,214株を除く）

株主数 1,667名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社扇港鋼業所	573,900株	10.33%
兼松エンジニアリング従業員持株会	476,600株	8.58%
山本 琴一	428,100株	7.70%
山口 隆 士	318,432株	5.73%
山本 吾 一	262,860株	4.73%
三谷 恵 美 子	212,550株	3.82%
柳川 裕 司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本 洋 介	133,848株	2.41%
三谷 浩 溢	106,535株	1.92%

（注）持株比率は、自己株式（5,214株）を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎.0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

K&B 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7

TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

R100
古紙配合率100%再生紙



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。